

名古屋駅前モニュメント計画図

457

過去から未来への発信

〈過去と未来をつなぐ象徴としてのモニュメント〉

過去
↓
現在
↓
未来

名古屋の街は古く縄文時代より人々が住みつき、街としての営みを始めた。それは数々の縄文式土器の出土に現われている。

産業都市としての地位を築いた名古屋は東京と大阪にはさまれ、新しい産業都市、新しい街づくりへと変化した。

21世紀の中心都市として情報発信の基盤により、日本の情報発信の拠点となる。

過去
↓
現在
↓
未来

縄文式土器に現われる縄を人々は大切な生活の道具として使い続けてきた。

〈縄をモチーフにしたデザイン〉

市制100周年を迎え市民に大きな輪を生み、大きな綱となり、新しい街づくりが進んでいる。

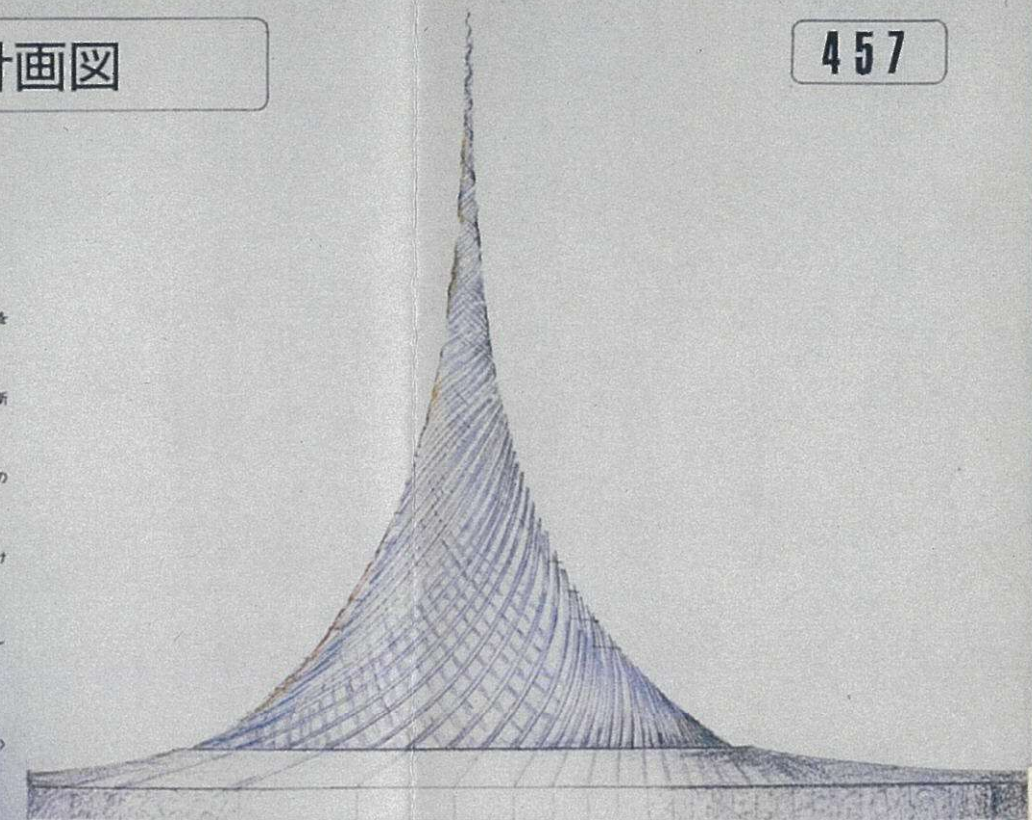
〈100本のステンレスパイプによる市民の力強い綱を表現〉

21世紀の情報都市の中心として世界に向け情報を発信する。

〈100本の光ファイバーにより情報化都市としてのシンボルの表現〉



モニュメント平面図 1:100



モニュメント立面図 1:100



〈ステンレスの縄〉

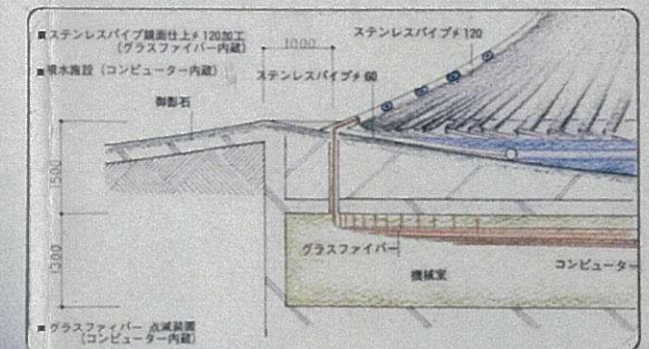
各々100本のパイプ端部からは時間と共に水と光をリズムカルに発する。

縄は古代から現代にそして未来に引継がれて行く大きな道具である

メカニズム

機械室内に100本のガラスファイバーを集め、コンピューターと連動して光を発する事により、ステンレス内を通したガラスファイバーの100点がネオンの様に光り輝く。

噴水 水中内に設置された水中ポンプよりステンレスパイプを通し送られた水が100点より、コンピューターと連動してリズムカルに吹き出す。



部分断面図 1:50

過去

縄文土器
縄のイメージ
縄

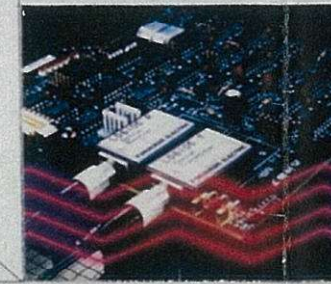


現在

フォーラムのイメージ

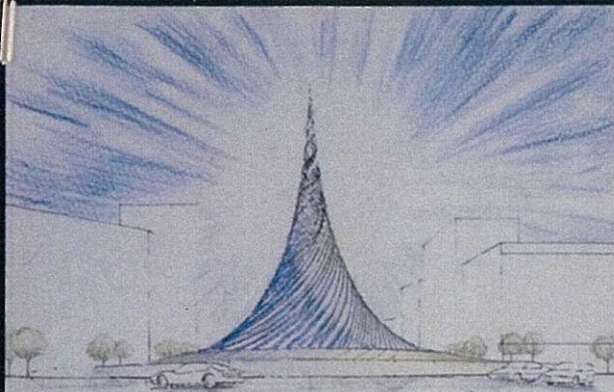
未来

情報化都市
情報のネットワーク
綱

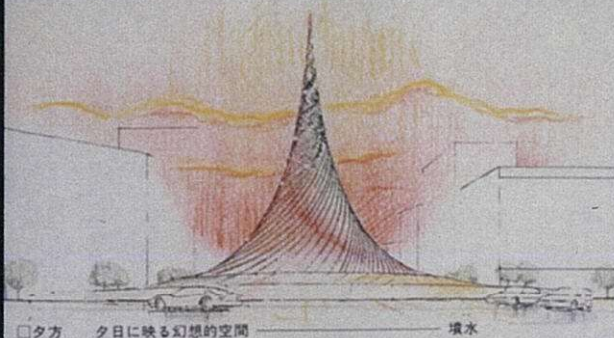


名古屋駅前ロータリー計画図

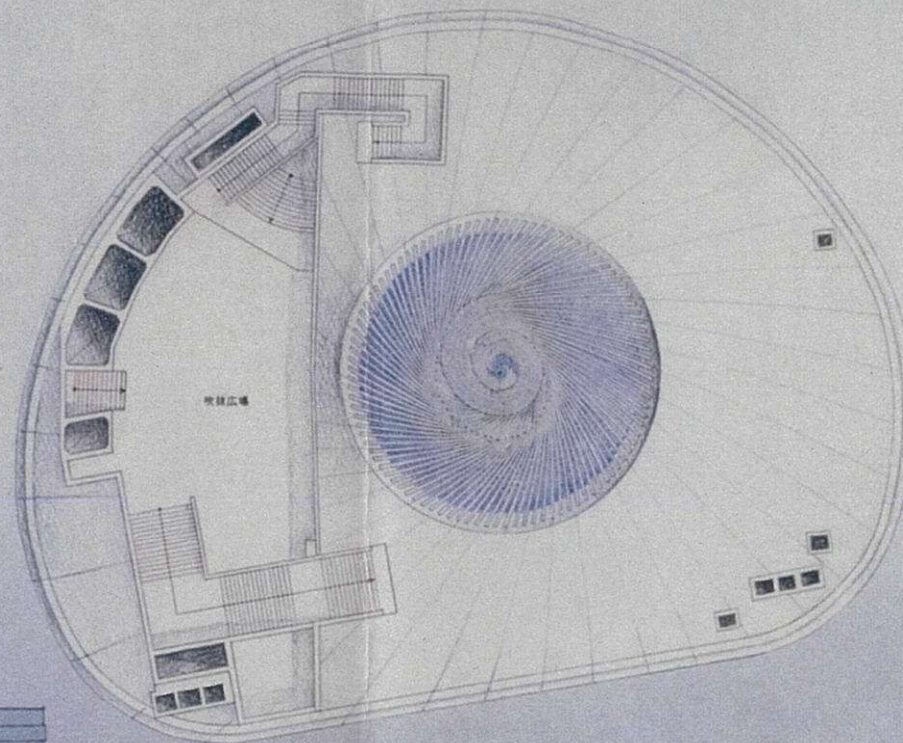
大名古屋ビル



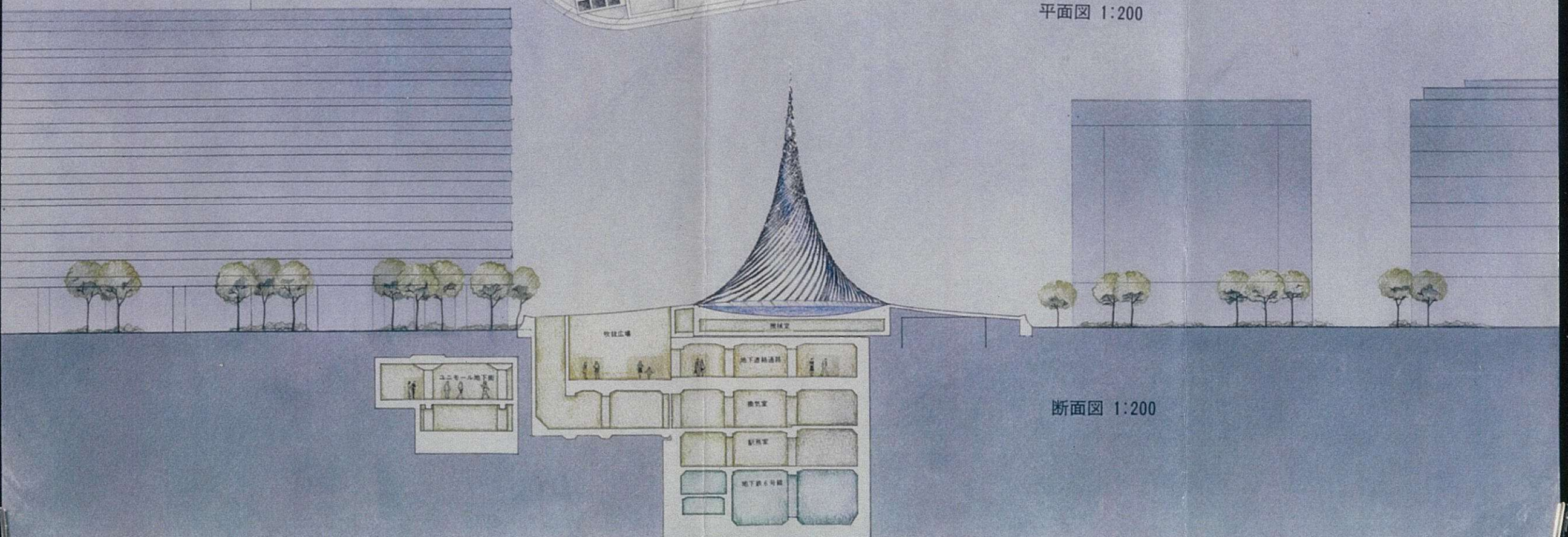
□ 朝 水と金属のさわやかなシルエット ———— 噴水



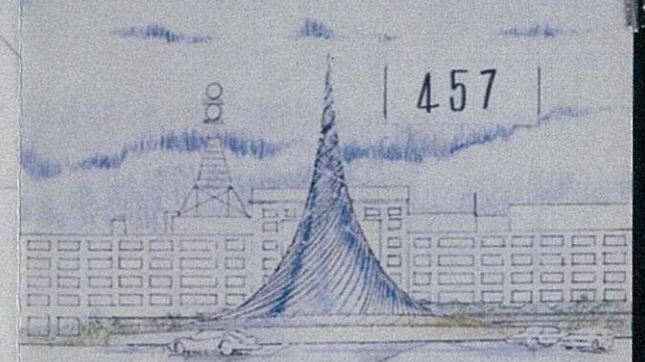
□ 夕方 夕日に映る幻想的空間 ———— 噴水



平面図 1:200



断面図 1:200

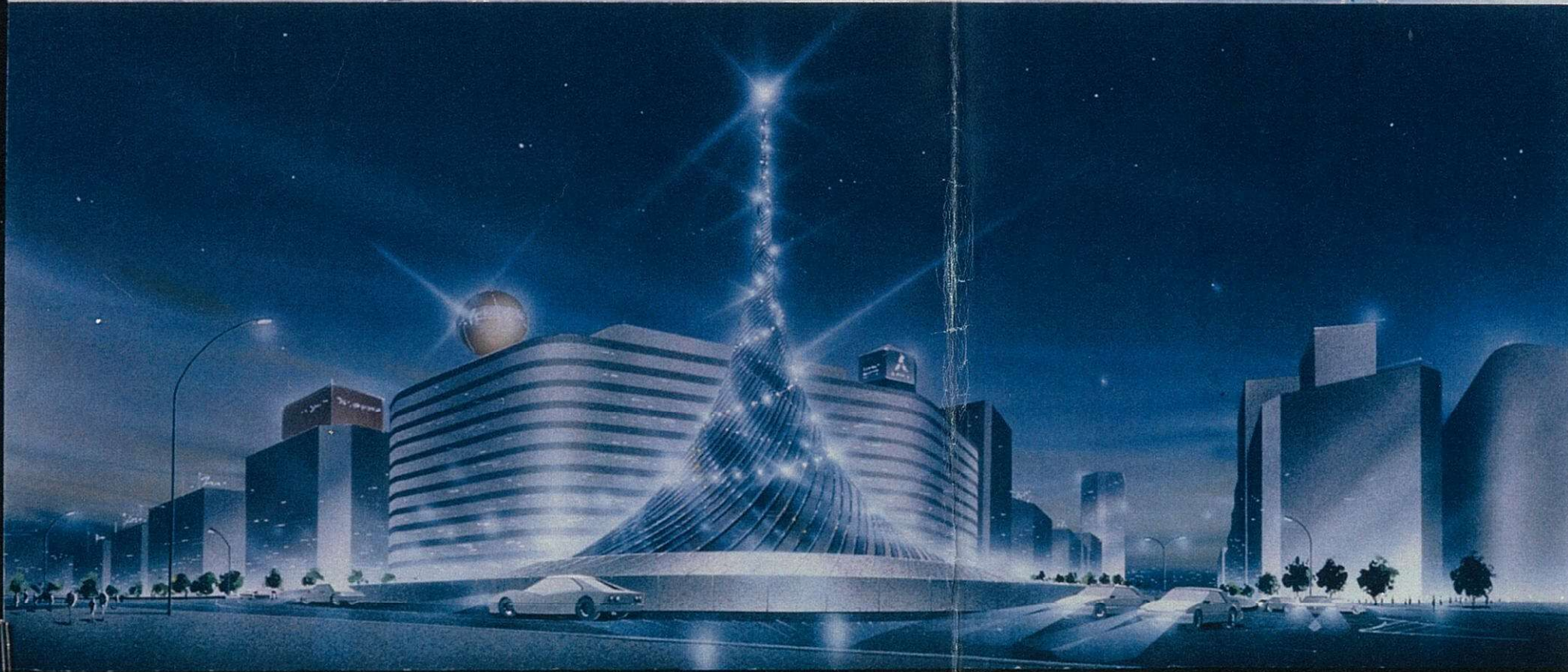


□ 昼 ステンレスの輝が人の心をひきつける ———— ステンレス



□ 夜 光り輝く未来の名古屋を象徴する光の塔 ———— 噴水と光ファイバー

457



天

地